

【神戸市】小中学生を守る、過度のスマートフォン等への依存を抑制するためのアプリ等の開発

課題の背景

文部科学省が公表した令和元年度の問題行動・不登校調査では、携帯電話などでの誹謗・中傷といった「ネットいじめ」が過去最多の1万7924件に上っている。また、スマートフォン等への依存（ゲーム、SNS等）も深刻化しており、睡眠時間の減少や学力の低下の恐れも生じている。各自治体などにおいても、スマートフォン等の利用についてルールを策定するなどの努力をしているが十分な効果を発揮できていない。

神戸市内のこれらの課題解決のために、小中学生の意見を反映したアプリ開発を行い神戸市内の市立小中学校（生徒数約11万人）における教材としての活用や神戸市推奨のアプリとして認定等を想定している。

課題のゴール

ネット上での誹謗・中傷等を排除することにより、いわゆるネットいじめを撲滅し、子供たちが有意義な学生生活を送ることを目指す。また、過度なネットへの依存を抑制することにより、子供にとって必要な睡眠時間を十分とるとともに、家族との時間、友人との時間を十分持てるようにする。

求められる要件（機能要求・関連基準等）

- ・小中学生が自ら考え議論した内容・意見を聴取しながら神戸市等関係者と開発の方向性について継続的に議論できること。（アプリ開発、edtech企業を想定）
- ・「表現の自由」またそこから派生する「知る権利、アクセス権」等を侵害しないこと。
- ・強制的な感覚を与えないこと。
- ・「スマートスマホ都市 KOBE」における「Pass KOBE」アプリの以下機能を参考にすること。

① スクリーンタイムを用いた観光

ネットの利用時間に応じて、利用時間が短ければ近くを、長ければ遠くの市内観光地を紹介

② 使い過ぎた時の警告音

自分で利用時間の目標を立てて警告音を鳴らす

③ ネット利用に関するアンケート

自分の依存度を確認するチェックリスト

④ 専門家からのアドバイス

トラブルやいじめに関する専門家のコラムを掲載、既存の電話相談等の紹介

協力事項

- ・小中学生に対するスマートフォン等に対するアンケート結果の提供
- ・小中学生によるスマホフォーラムに関する意見交換内容の提供
- ・子供たち、保護者、教師、SNS事業者からの意見聴取機会の提供
- ・実証実験機会の提供、取組内容の評価
- ・共同研究開発の機会提供（数百万円程度を想定）
- ・優先調達の機会提供

（参考：神戸市関連取組：<https://www.city.kobe.lg.jp/a89138/shise/kekaku/kikakuchosekyoku/kobesumahoforum.html>）